

## 藤樹人間学塾： 藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生の著書を中心に藤樹思想を学ぶとともに、今日的意義を自分の頭で考え、仲間と議論しながら考えを深め、

日々の生活の場で実践することを目指す。日々の生活の場で実践することを目指す。日々の生活の場で実践することを目指す。日々の生活の場で実践することを目指す。日々の生活の場で実践することを目指す。

五月七日(土)午後、第57回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

## 高島藤樹会活動の紹介

はじめに円覚寺管長の横田南陵著『二度とない人生だから今日一日は笑顔でいよう』の中に「親の恩とは何か」念ずれば花ひらく」という章があり、内容は藤樹先生の「孝」の教えと同じであると話しました。

「孝経」を素読した後、「先王至徳要道あつてもつて天下を順にす…」の項を学びました。その概意は、先の優れた王は、大事な道を守り優れた徳を持っていたので、国が治まった。フリートリーキングでは、孝と徳の関係等について議論しました。

六月十八日(土)午後、第58回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

最初に「孝経」を素読した後、「身体髪膚はこれを父母に受けた。取って損ない傷らざるは孝の始めなり。身を立て、道を行い、名を後世に揚げて、もつて父母を顕わすは孝の終わりなり。」の項を学びました。その概意は、父母の分身であるこの身を正しく振舞うことにより、実をあげ、名も後世にあがつて、自然に父母をも顕彰することに至る。フリートリーキングでは、親の不祥事で子供がいじめられた時どう対応するか、等について議論しました。

塾の後は、場所を替えて懇親会を楽しみました。

七月二日(土)午後、第59回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

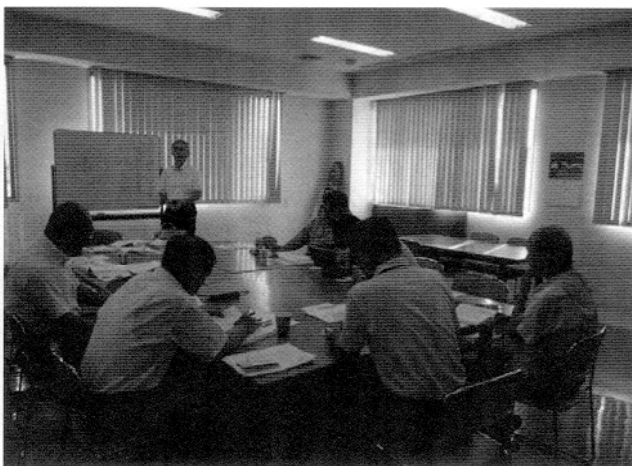
はじめに、今、書店で百三十万部を超えて売れている『嫌われる勇氣』(アドラー心理学・哲人と青年の対話)の第1話「トラウマを否定せよ」を説明し、アドラー心理学は仏教の「因果の間に縁がある」の思想にも近く、藤樹先生の「独りを慎む」教えに通じていると話しました。

「孝経」を素読した後、「親を愛する者は敢えて人をにくまず、親を敬う者は敢えて人を侮らず。愛敬親に事うるに尽きて…」の項を学びました。その概意は、親を愛せるものは他者も愛せる。親を人として遇せることができるものは他者に対して

も同様である。真に親を愛敬することができるといふことが…。フリートリーキングでは、こういう自利と利他の心のバランスをどうとつていけばよいのか、等について議論しました。

八月六日(土)午後、第60回人間学塾を安曇川公民館で行いました。

最初に前月話題になった「自利と利他」について、最澄の言葉やガンジーの言葉から「利他即自利」すなわち他の利益を考えて行動することが自分の利益になると自覚することと話しました。他人に「五事を正す」行動により、自分が「良知に致る」ことができるのと同じです。



『孝経』を素読した後、「上にありて驕らざれば、高くとも危うからず。節を制し度を慎めば満つるとも溢れず…」の項を学びました。その概意は、地位が上であっても驕ることをしなければ高い地位にあつても安定する。富裕であっても財政をきちんと切り盛りし、分度を心得ていればその富裕を長く保てる。フリートリーキングでは、富裕を保つためには富を分配すべきか、現代の貧困問題・格差社会をどう考えるか等について議論しました。

本塾には、新しく参加される方が徐々に増えています。「学ぶは楽しい」。皆さまのご参加をお待ちしています。

### 「藤樹人間学塾 平成28年度予定」

- ◎九月三日(土)
- 十月一日(土)
- 十一月五日(土)
- ◎十二月三日(土)
- 一月十四日(土)
- 二月四日(土)
- ◎三月四日(土)
- 時間 十五時～十七時
- 場所 安曇川公民館
- ◎印は塾終了後、懇親会あり